

ヒロセ電機 2021年3月期第1四半期 決算説明会

# 2021年3月期 第1四半期 決算説明会

**2020年8月4日**

**ヒロセ電機株式会社**

[6806]

## 注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

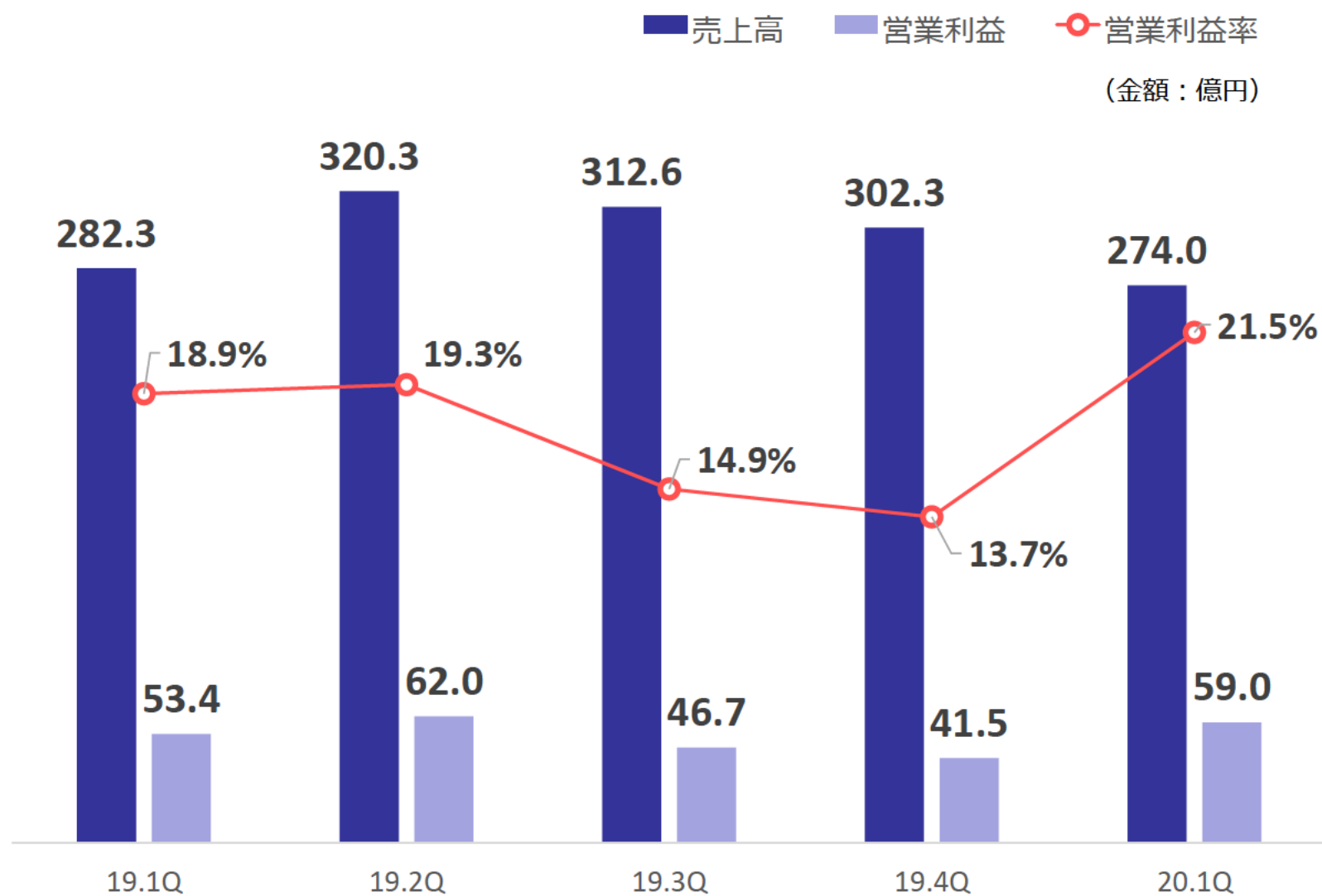
## 業績サマリー (2020年度 第1四半期 2020年4月～6月)

- 2020年度第1四半期は、世界的なコロナ禍で経済活動が停滞傾向の中、売上 前年比 **3.0%減**。
- 営業利益は前年度郡山水害の保険金(その他収益15億円)含み、前年比 **10.4%増** となりました。

(金額：億円)

	2019年度1Q (2019.4-6月)	2019年度4Q (2020.1-3月)	2020年度1Q (2020.4-6月)	前年同期比 (2020.1Q/2019.1Q)	前四半期比 (2020.1Q/2019.4Q)
受注	300.8	319.3	<b>277.4</b>	-7.8%	-13.1%
売上	282.3	302.3	<b>274.0</b>	-3.0%	-9.4%
営業利益	53.4	41.5	<b>59.0</b>	10.4%	42.1%
営業利益率	18.9%	13.7%	<b>21.5%</b>	+2.6pt	+7.8pt

## 売上・営業利益推移 (2019年度1Q～2020年度1Q / ヒロセ連結ベース)



## 2020年度 第1四半期 連結決算概要

(金額：億円)

	2019年度1Q (2019/6月期)	2020年度1Q (2020/6月期)	増減額 (対前年同期比)	増減比 (対前年同期比)	
<b>売上高</b>	<b>282.3</b>	<b>274.0</b>	<b>-8.3</b>	<b>-3.0%</b>	
売上原価率	57.5%	58.0%	+0.5		
販売・管理費比率	26.7%	26.0%	-0.7		
<b>営業利益</b>	<b>53.4</b>	<b>59.0</b>	<b>+5.6</b>	<b>10.4%</b>	
営業利益率	18.9%	21.5%	+2.6		
<b>税引前利益</b>	<b>56.7</b>	<b>60.9</b>	<b>+4.2</b>	<b>7.4%</b>	
税引前利益率	20.1%	22.2%	+2.1		
<b>当期利益</b>	<b>40.7</b>	<b>44.2</b>	<b>+3.5</b>	<b>8.6%</b>	
当期利益率	14.4%	16.1%	+1.7		
<b>総資産残高</b>	<b>3,421.0</b>	<b>3,436.4</b>			
自己資本比率	<b>88.8%</b>	<b>89.4%</b>			
1株当たり当期利益	<b>111.56円</b>	<b>121.78円</b>			
			2019年度 1Q	2020年度 1Q	
			1US\$	109.90円	<b>107.62円</b>
			1€	123.49円	<b>118.48円</b>
			100ウォン	9.43円	<b>8.83円</b>

## 2020年度 第1四半期 対前年主要増減

## 売上高

**8.3億円 減** (282.3億円 → 274.0億円)

ヒロセ単体 : +11.2億円

子会社 : -19.5億円

## 売上原価率

**0.5pt 悪化** (57.5% → 58.0%)仕入原価費率 : 38.4% → **39.2%**減価償却費率 : 10.7% → **11.9%**

## 販売・管理費比率

**0.7pt 良化** (26.7% → 26.0%)

75.5億円 → 71.3 億円 (4.2億円 減少)

## 金融収益・費用

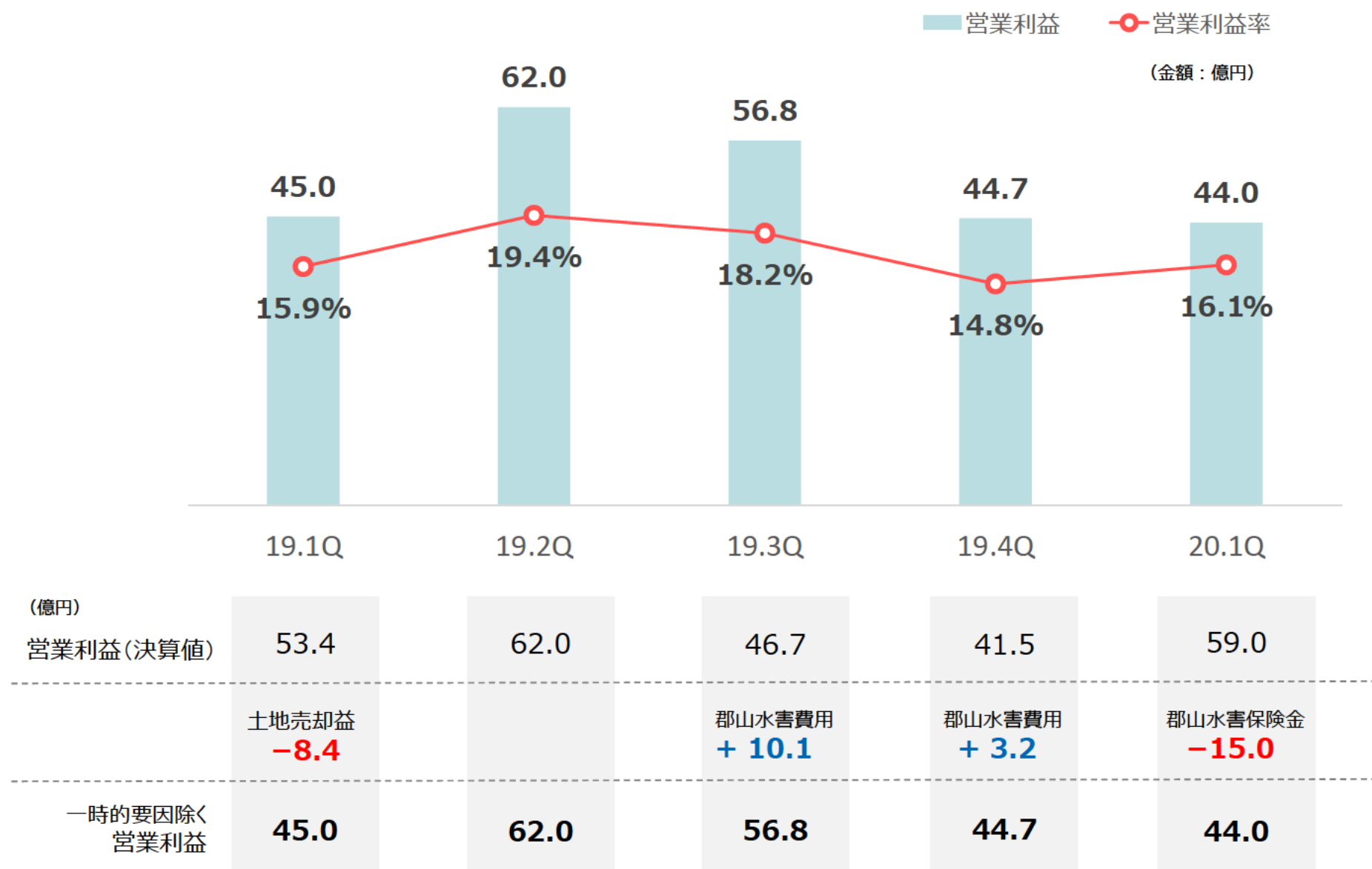
**1.4億円 悪化** (+3.4億円 → +2.0億円)

## 2020年度 第1四半期 対前年同期 変動分析

(金額：億円)

	売上	営業利益	営業利益率	税前利益	税前利益率
<b>2019年度 1Q実績</b>	<b>282.3</b>	<b>53.4</b>	<b>18.9%</b>	<b>56.7</b>	<b>20.1%</b>
為替影響	-6.3	-3.6		-4.2	
減価償却費増		-2.9		-2.9	
人件費減		2.8		2.8	
物量減	-2.1	-0.8		-0.8	
土地売却益		-8.4		-8.4	
保険金収入		15.0		15.0	
旅費・海外渡航費減		2.5		2.5	
その他		1.1		0.3	
<b>変動額計</b>	<b>-8.3</b>	<b>5.6</b>		<b>4.2</b>	
<b>2020年度 1Q実績</b>	<b>274.0</b>	<b>59.0</b>	<b>21.5%</b>	<b>60.9</b>	<b>22.2%</b>

## 一時的要因を除いた場合の営業利益推移 (2019年度1Q~2020年度1Q)





## 連結貸借対照表

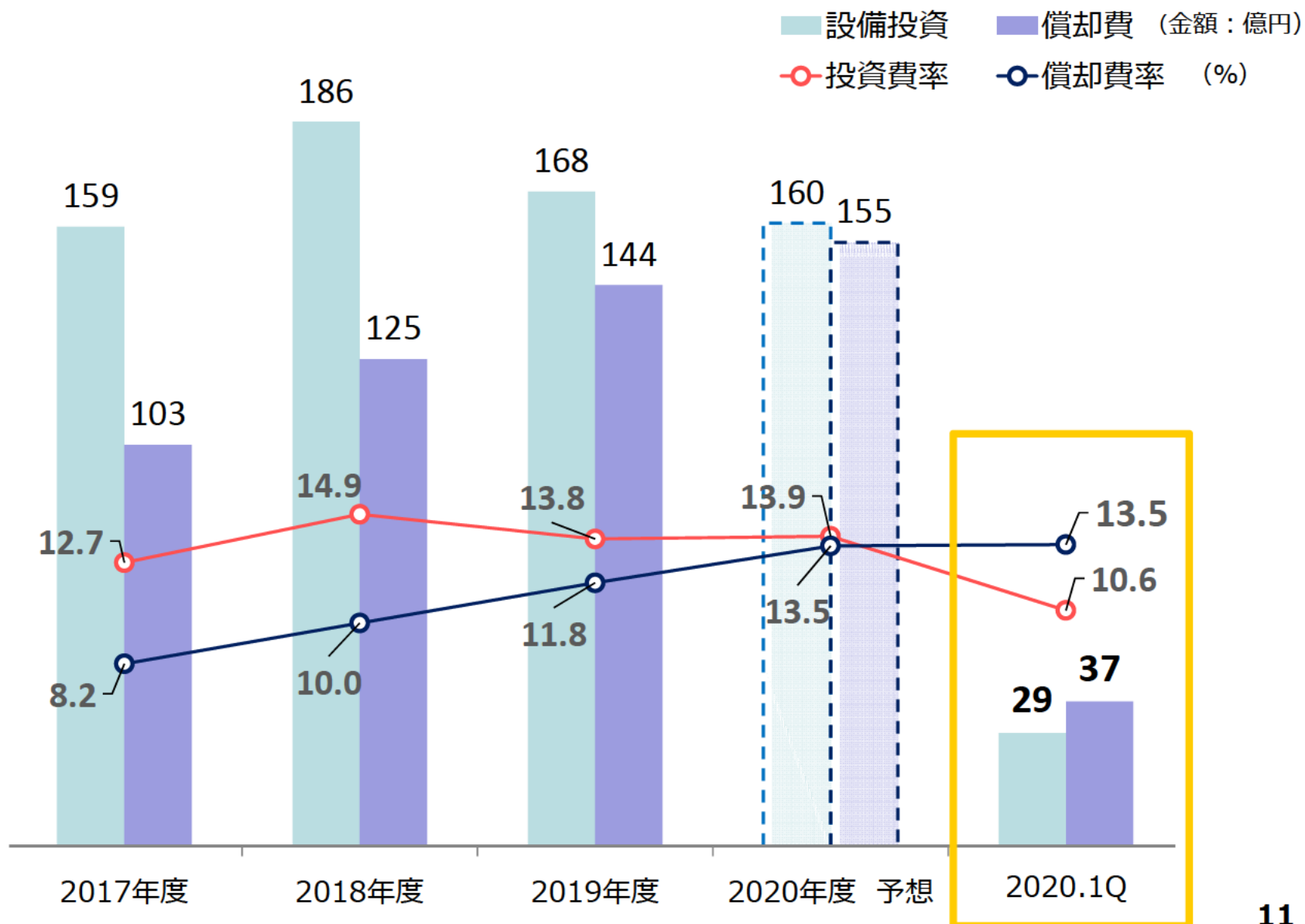
(金額：億円)

	科目	2020/3末	2020/6末	増減額	備考
資 産	現金及び 現金同等物	505.6	525.4	19.8	定期預金満期、他
	営業債権及び その他の債権	304.4	294.6	-9.9	
	棚卸資産	145.1	163.5	18.4	海外販社での在庫積上げ増
	その他金融資産	1,706.8	1,703.4	-3.4	
	有形固定資産	615.4	615.4	0.0	
	使用权資産	44.8	43.3	-1.5	
	その他	104.3	90.8	-13.4	
	合計	3,426.4	3,436.4	9.9	
	現預金合計	1,674.5	1,682.8	8.2	9

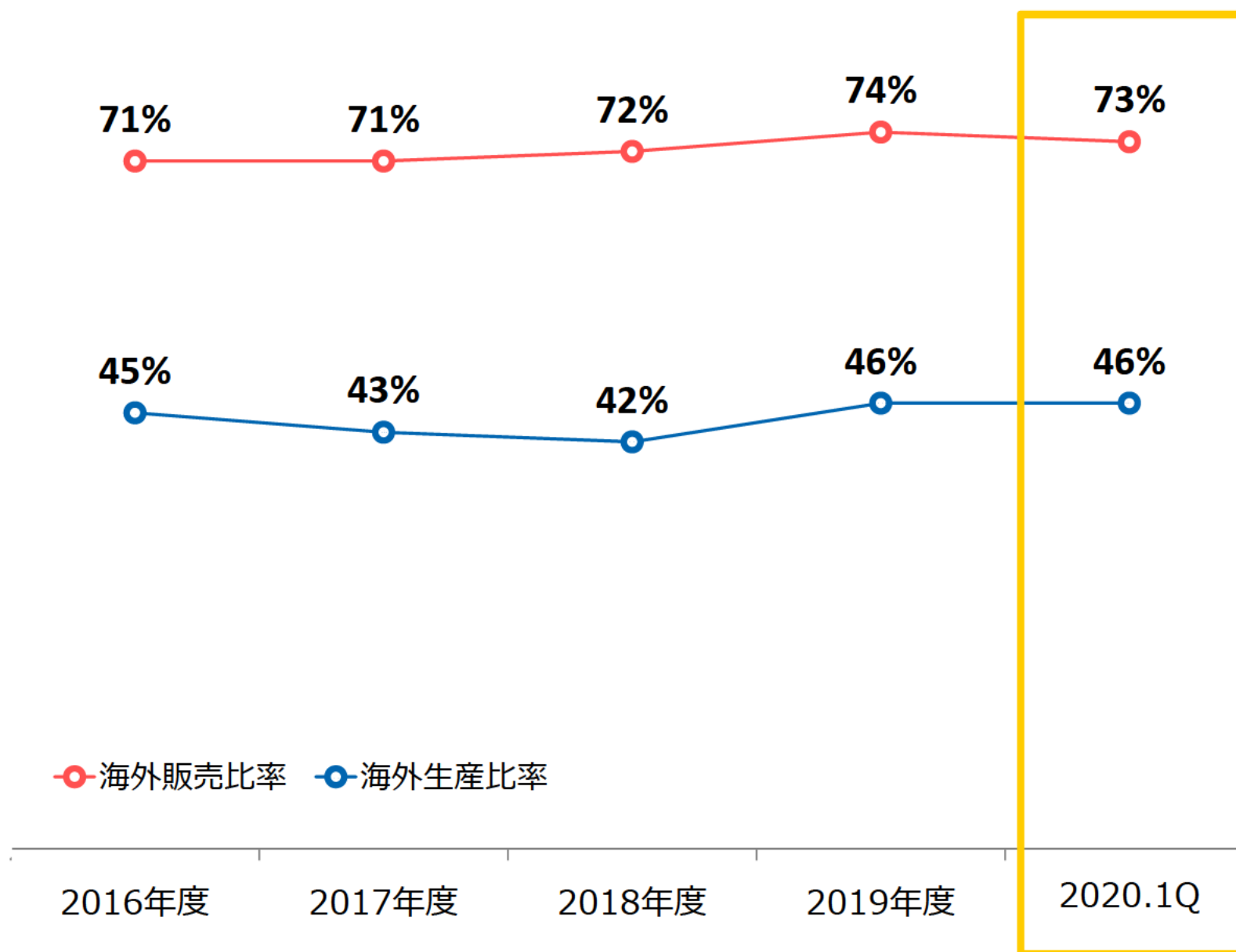
## 連結貸借対照表

	科目	2020/3末	2020/6末	増減額	備考
負債	支払債務及び その他の債務	167.5	177.5	10.1	
	リース負債	44.9	43.4	-1.5	
	未払法人税	29.6	24.2	-5.5	
	その他	123.0	118.7	-4.3	
	合計	365.0	363.8	-1.2	
純資産	資本金及び 資本剰余金	207.0	206.9	-0.1	
	利益剰余金	3,083.4	3,060.3	-23.1	自己株式への振替
	自己株式	-244.6	-220.8	23.8	自己株式消却
	その他	15.6	26.0	10.4	
	合計	3,061.4	3,072.5	11.1	
	負債及び純資産合計	3,426.4	3,436.4	9.9	

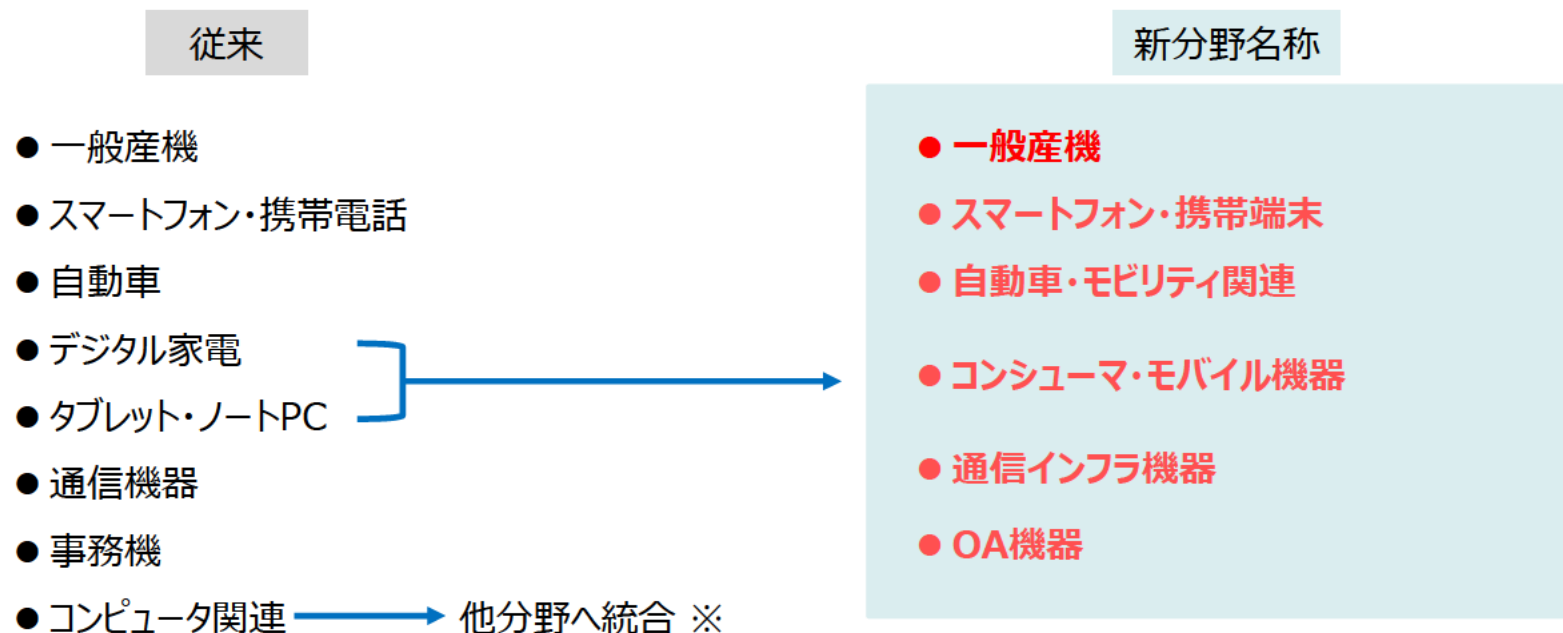
# 設備投資・償却費 推移 (連結ベース)



## 海外生産比率・販売比率



## コネクタ用途別売上 区分見直しと名称変更について



### ■ 今年度より用途別売上実績の区分見直しと名称変更をいたしました。

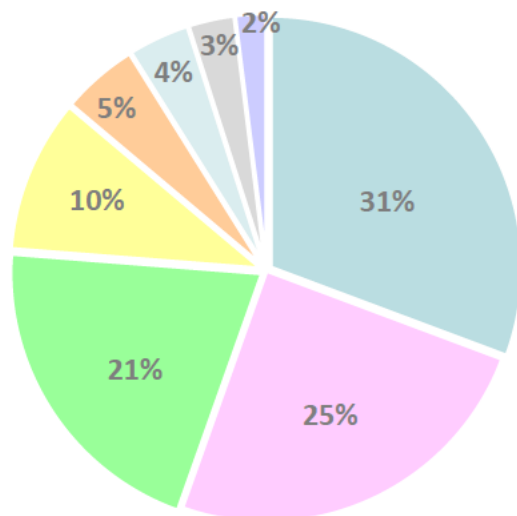
これまで売上高を指数表示していたものを実額(億円単位)に変更いたします。  
比較的近い機器分類を統合し、動向をわかりやすくいたします。

(但し、用途別の区分は共通部品として利用される場合、概算での集計になりますため概数であることには変わりありませんので、ご了承お願い致します。)

※ 従来の「コンピュータ関連」は、「金融端末等 (一般産機)」「PC関連等 (コンシューマ・モバイル機器)」「データセンター関連 (通信インフラ機器)」「プリンタ(OA機器)」に分割、各分野へ統合いたしました。

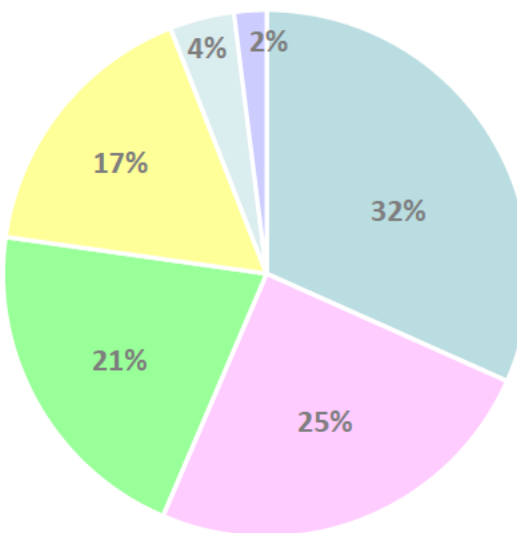
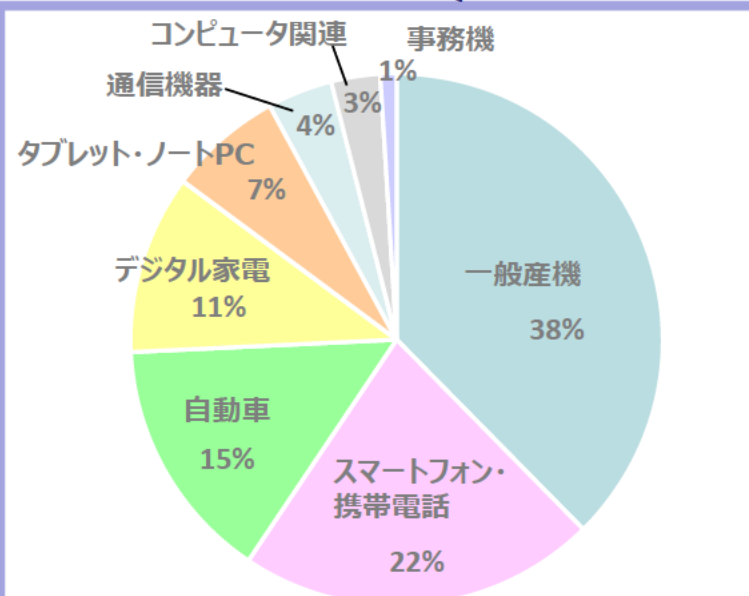
# コネクタ用途別売上構成比（概数）

2019.1Q

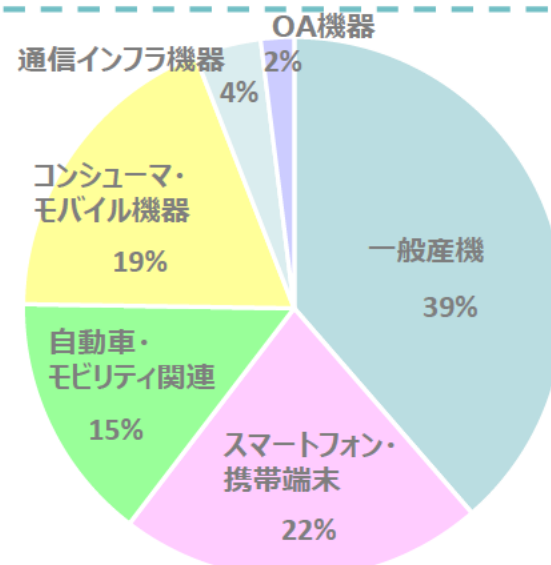


従来区分

2020.1Q



新分野区分

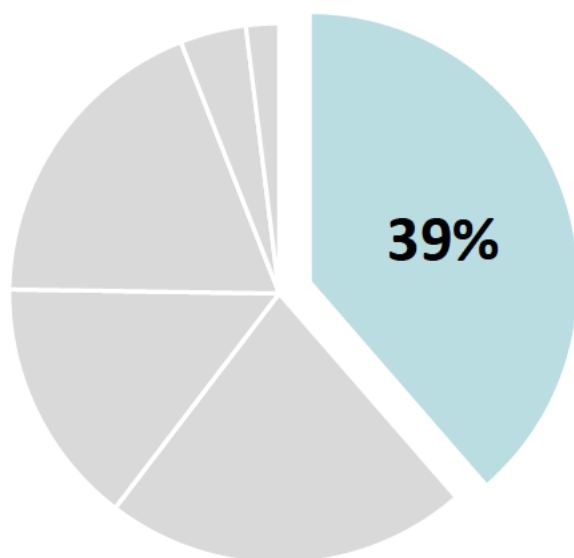


## 分野別売上 一般産機

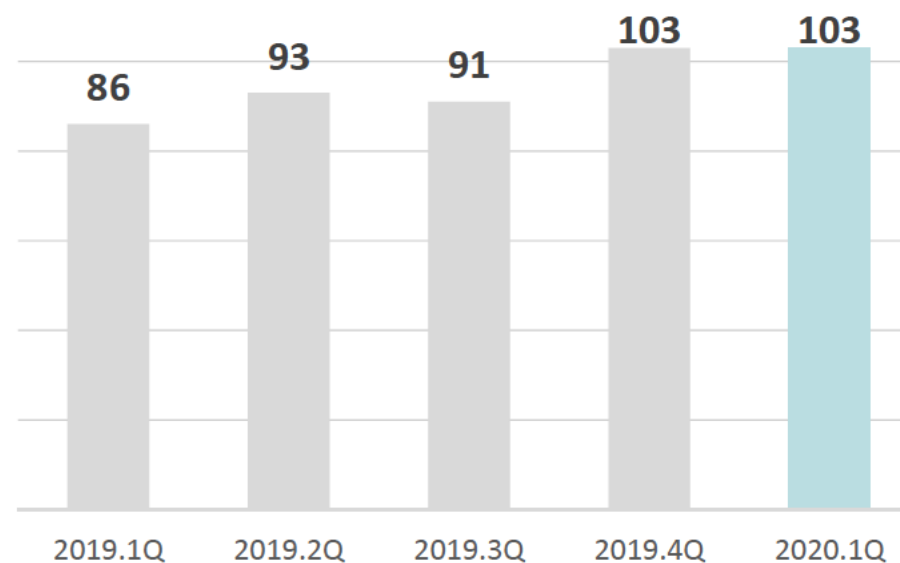
(金額：億円)

	2019年度1Q	2019年度4Q	2020年度1Q	前年同期比	前四半期比
売上高	86	103	<b>103</b>	20%	0%

### ● 構成比



### ● 四半期別売上推移



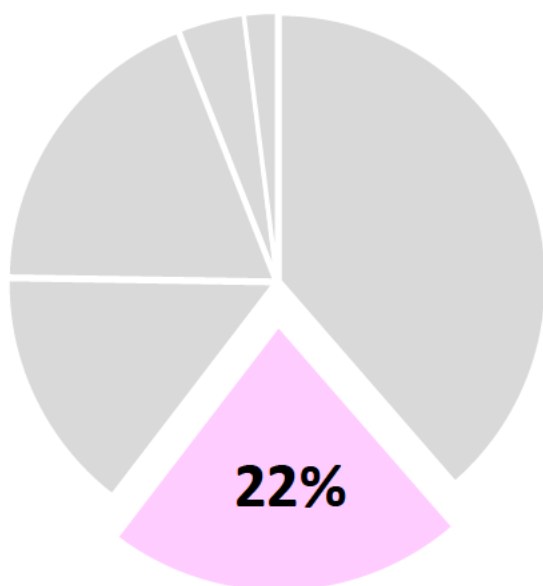
- 前期（2019.4Q）に続き、一部まとめ発注を含んでいる。
- 今後の回復傾向には不透明感がある。

## 分野別売上 スマートフォン・携帯端末

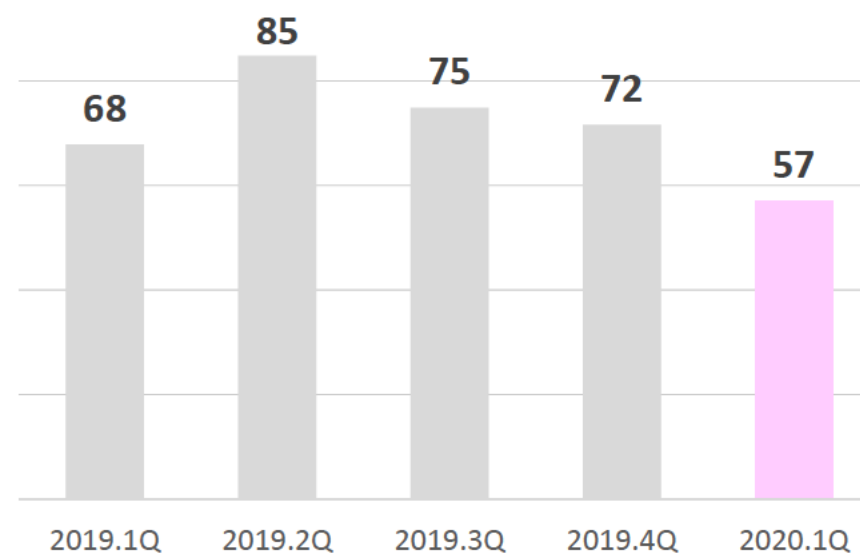
(金額：億円)

	2019年度1Q	2019年度4Q	2020年度1Q	前年同期比	前四半期比
売上高	68	72	57	-16%	-21%

### ● 構成比



### ● 四半期別推移



- スマホ・携帯端末向け売上は、2020.1Qで減少したが、一部在庫調整も含む結果。今後も5G新機種への期待もあり高水準で推移すると思われる。

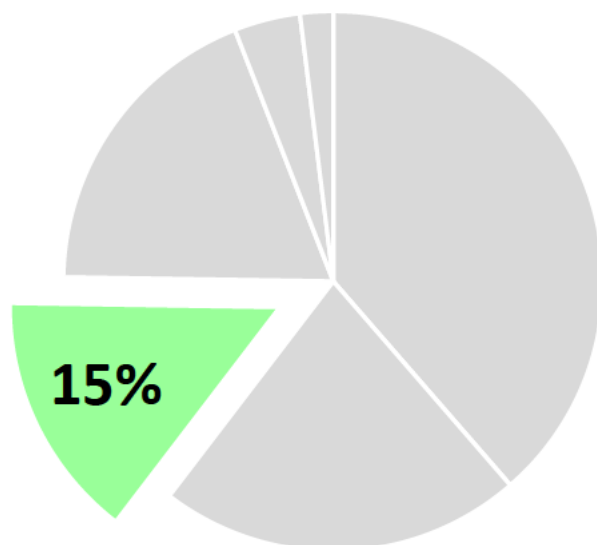


## 分野別売上 自動車・モビリティ関連

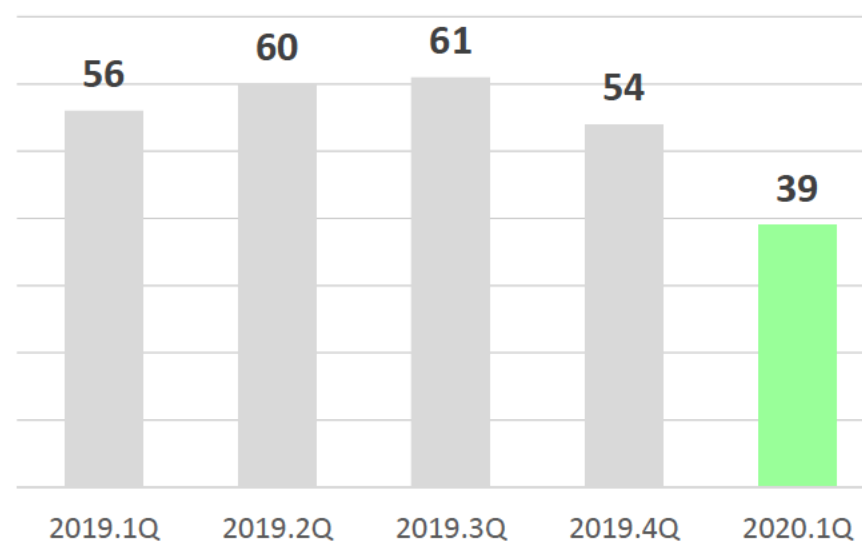
(金額：億円)

	2019年度1Q	2019年度4Q	2020年度1Q	前年同期比	前四半期比
売上高	56	54	39	-30%	-28%

### ● 構成比



### ● 四半期別推移



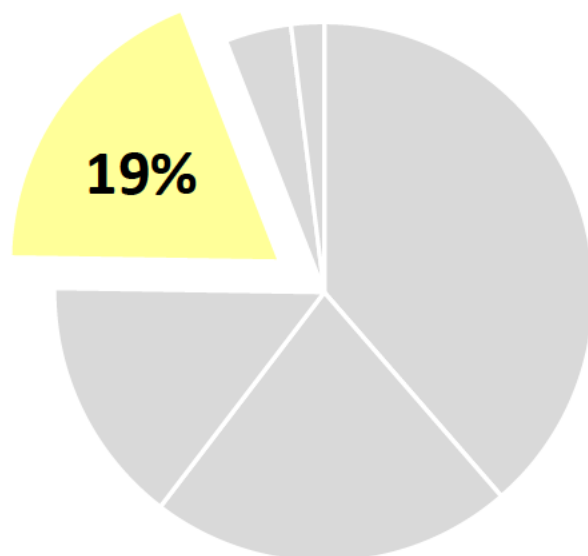
- 自動車市場向けは、前四半期（2019.4Q）に続き、減少傾向が続いている。

## 分野別売上 コンシューマ・モバイル機器

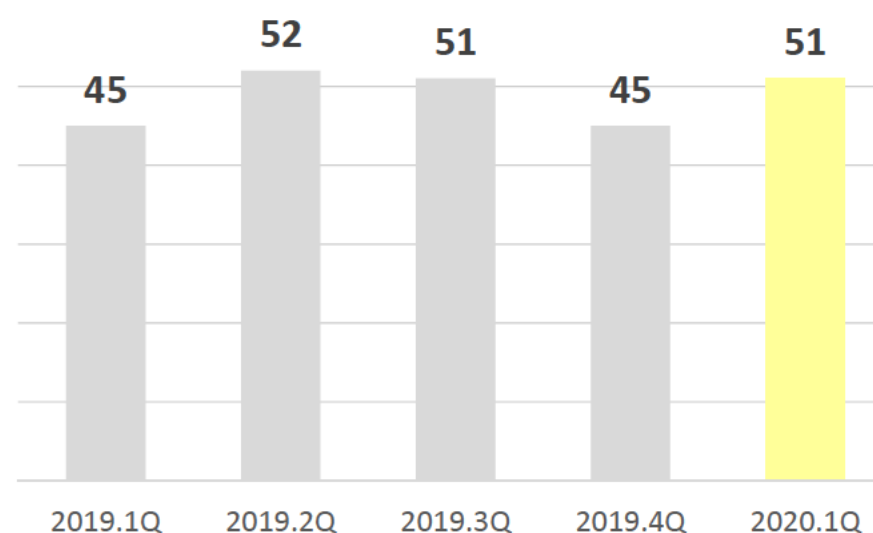
(金額：億円)

	2019年度1Q	2019年度4Q	2020年度1Q	前年同期比	前四半期比
売上高	45	45	51	+13%	+13%

### ● 構成比



### ● 四半期別推移



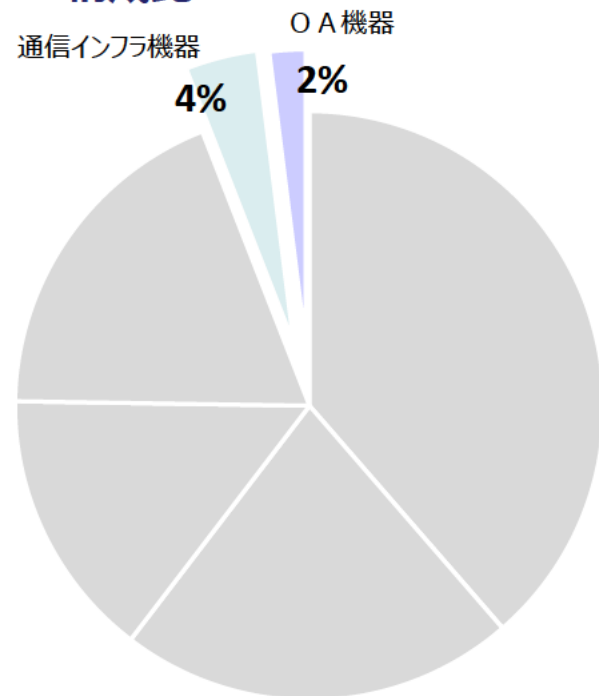
- 感染防止策としてリモートワークが定着、パーソナル・小型コンシューマ機器の需要が一時的に増加した。

## 分野別売上 通信インフラ機器 / OA機器

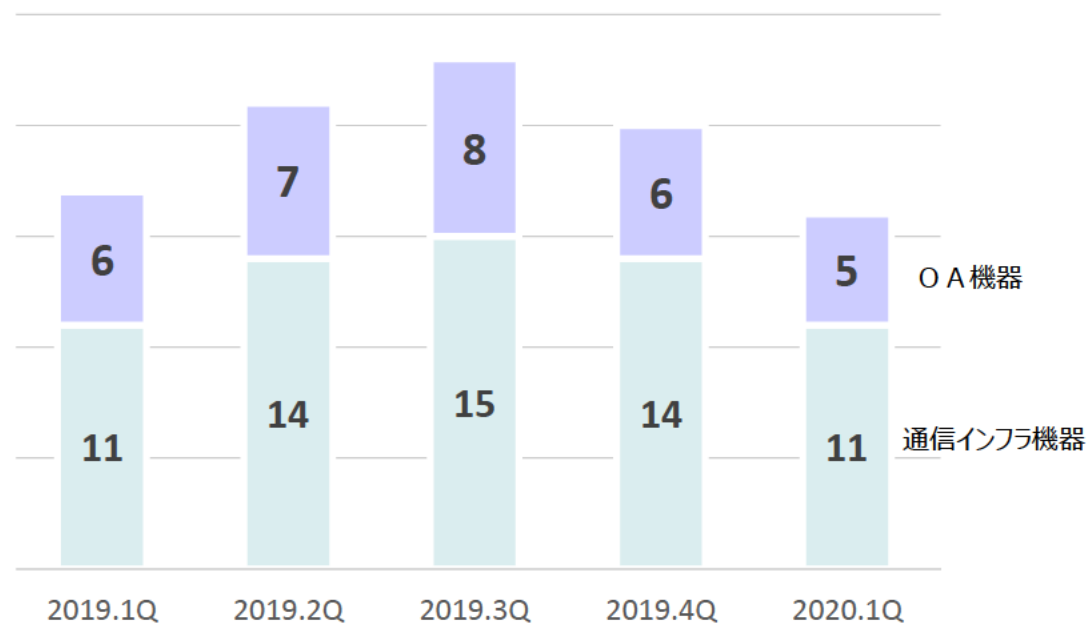
(金額：億円)

	2019年度1Q	2019年度4Q	2020年度1Q	前年同期比	前四半期比
通信インフラ機器	11	14	11	0%	-21%
OA機器	6	6	5	-17%	-17%

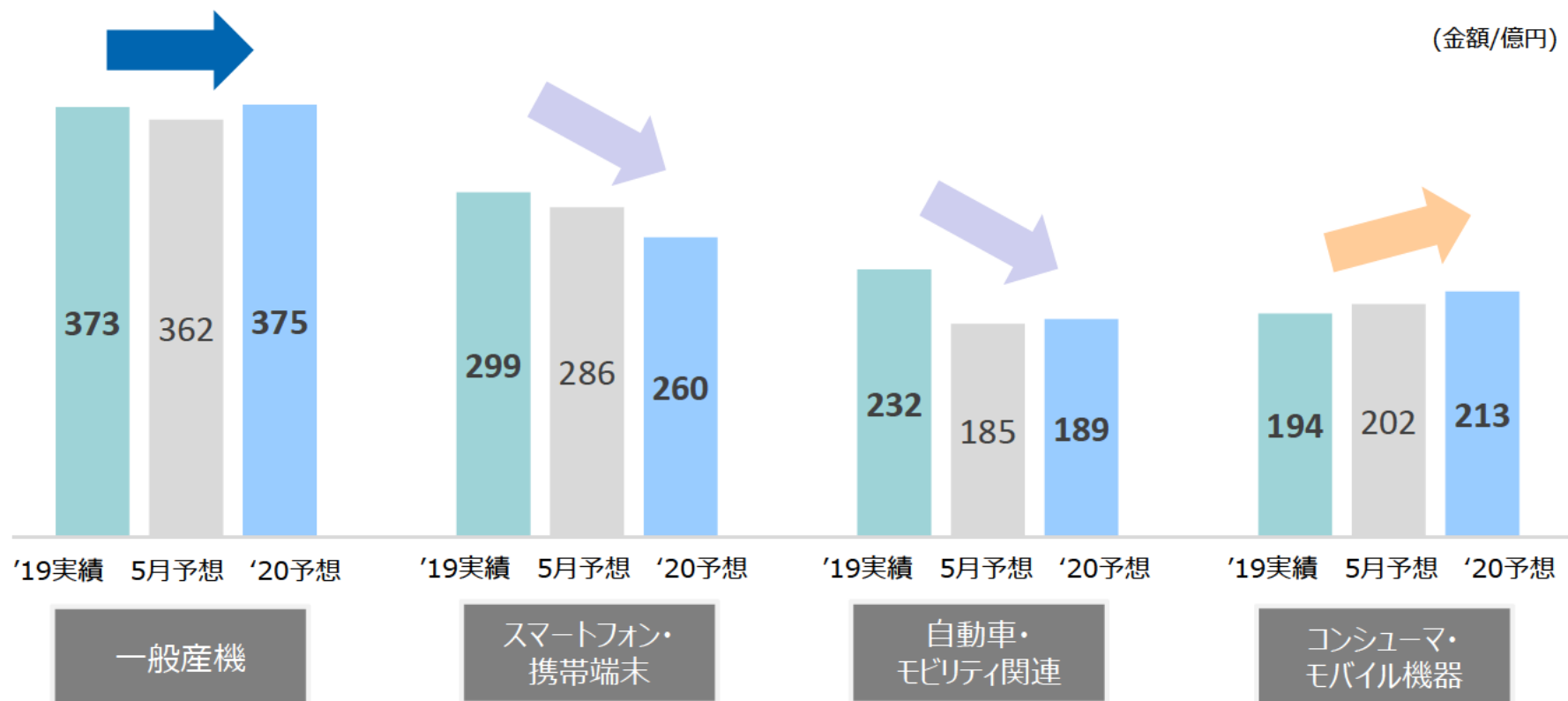
### ● 構成比



### ● 四半期別推移



## 分野別 年間売上予想【アップデート】



- 一般産機…回復傾向にはないが、年間微増に上方修正
- スマホ・携帯端末…コロナ禍による消費冷え込みの影響もあり、当初予想を下方修正
- 自動車・モビリティ関連…今期の減少傾向は変わらないが、減少率を若干上方修正
- コンシューマ・モバイル機器…期初は年間微増と予想していたが、10%アップに変更

〔2020/5月予想→年間伸び率予想修正〕

〔-3% → +1%〕

〔-4% → -13%〕

〔-20% → -18%〕

〔+4% → +10%〕

## 2021年3月期 業績予想 (連結)

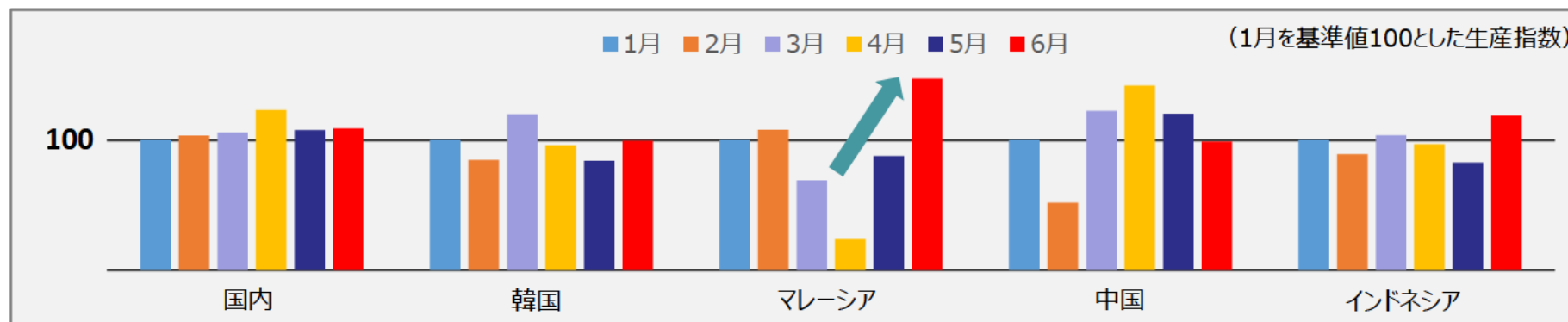
2020.5 公表値から変更ありません

(金額：億円)

	2019年度 (2020/3月期) 実績		2020年度 (2021/3月期) 予想		第2四半期累計 対前年実績		通期 対前年実績	
	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	通期	増減額	増減率	増減額	増減率
<b>売上高</b>	602.7	1,217.6	<b>500.0</b>	<b>1,150.0</b>	<b>-102.7</b>	<b>-17.0%</b>	<b>-67.6</b>	<b>-5.6%</b>
売上原価率	57.1%	57.8%	60.0%	60.4%				
<b>営業利益</b>	115.3	203.6	<b>85.0</b>	<b>172.0</b>	<b>-30.3</b>	<b>-26.3%</b>	<b>-31.6</b>	<b>-15.5%</b>
(%)	19.1%	16.7%	17.0%	15.0%				
<b>税前利益</b>	120.9	212.1	<b>90.0</b>	<b>180.0</b>	<b>-30.9</b>	<b>-25.5%</b>	<b>-32.1</b>	<b>-15.1%</b>
(%)	20.1%	17.4%	18.0%	15.7%				
<b>当期利益</b>	85.7	153.1	<b>60.0</b>	<b>130.0</b>	<b>-25.7</b>	<b>-30.0%</b>	<b>-23.1</b>	<b>-15.1%</b>
(%)	14.2%	14.4%	12.0%	11.3%				
一株当たり当期利益	—	420.39円	—	<b>358.45円</b>		2019年度 実績	2020年度 1Q実績	2020年度 (2020.5時点)
一株当たり配当	120円	240円	<b>120円</b>	<b>240円</b>	1US\$	108.74円	107.62円	107.0円
					1€	120.82円	118.48円	117.0円
連結配当性向	—	57.1%	—	<b>67.0%</b>	100ウォン	9.21円	8.83円	8.80円

## 新型コロナウイルス感染症に関して (1) 生産・開発に関する取り組みと影響

### ■ 生産活動状況



- マレーシア活動制限令により、3～4月にマレーシア工場生産休業。5月より一部再開し、6月以降で大幅増産対応中。
- 2月中国、3～4月マレーシアにて生産制限があったものの、その他工場では感染防止策を取りながら稼働を継続。

### ■ その他の影響

物流制限	航空機減便により、一時的に輸送費値上げの影響あり。
研究開発	約2か月のリモートワーク期間により、開発案件の一部で停滞感も挽回中。
活動制限	お客様・社員の安全確保のため、外部に対する業務活動を制限。

## 新型コロナウイルス感染症に関して (2) 安全な事業継続のための取り組み

<b>リモートワーク活用</b>	2～5月 各エリアによる感染防止策として、リモートワーク主体の活動に移行。システムのクラウド化は従来より進めており、業務上の停滞を最小限に抑えながら、リモートワークへの切り替えができた。
<b>オンラインツールの活用</b>	取締役会、決算説明会、採用面接などオンライン会議を有効活用。社内ミーティングも3密を避け、電子会議・情報共有システムを活用。社外に対し、技術者向けのオンラインセミナーも実施。
<b>新型コロナウイルス 対応ハンドブック配布</b>	コロナウイルスに関する正しい理解と対応策について、3月にハンドブックを作成し、配布。7月には第2版を発行し、引き続きの注意喚起を行った。
<b>日常管理、注意喚起 マスク配布</b>	従業員含め関係者の体調管理や注意喚起。各所の消毒液の設置。マスクが入手困難な状況を受け、感染拡大防止の観点から国内・海外社員に使い捨てマスクを配布。

## <News> 第16回 JPCA賞 (アワード) JPCA奨励賞受賞について

- ヒロセ電機の“FX26シリーズ”が、第16回JPCA賞 (アワード) にてJPCA (日本電子回路工業会) 奨励賞を受賞いたしました。



FX26シリーズは、EV・HEVの基幹製品であるインバータ・モーターコントローラ等パワートレインの内部接続用に開発された、140℃耐熱・高耐振構造基板対基板フローティングコネクタです。

学术界、電子回路業界、専門誌編集者等有識者で構成されるJPCA 賞 (アワード) 選考委員会により厳正な審査の結果、選出されました。

このたび受賞したFX26 シリーズは、自動車パワートレインの内部接続において、基板対基板での接続に置き換えた際の応力集中を、接続部にフローティング構造を導入することによって克服し、優れた耐振性、耐熱性を特徴にもつ点で、ご評価をいただいております。



## 補足資料 (Appendix)

## 分野別売上推移 概数（四半期ベース）

（金額：億円）

	2019年度				2020年度	分野 構成比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
一般産機	86	93	91	103	<b>103</b>	<b>39%</b>
スマホ・携帯端末	68	85	75	72	<b>57</b>	<b>22%</b>
自動車・モビリティ関連	56	60	61	54	<b>39</b>	<b>15%</b>
コンシューマ・モバイル端末	45	52	51	45	<b>51</b>	<b>19%</b>
通信インフラ機器	11	14	15	14	<b>11</b>	<b>4%</b>
OA機器	6	7	8	6	<b>5</b>	<b>2%</b>
<b>コネクタ計</b>	<b>272</b>	<b>311</b>	<b>302</b>	<b>293</b>	<b>265</b>	<b>100%</b>
その他	11	9	11	9	9	
<b>合計</b>	<b>282</b>	<b>320</b>	<b>313</b>	<b>302</b>	<b>274</b>	